



## 地域研究（欧州）

### 練習問題

（6月9日）

第2次世界大戦が始まる前から米ソはいがみ合っていたが、戦後はそれが激化し、ヨーロッパ大陸は（ ア ）によって分断されることになる。この東西対立は1950年に起きた（ イ ）戦争でも顕著に現れた。（ イ ）半島には、現在でも実質的に<sup>5</sup>2つの国が存在しているが、その内、西側陣営に属するのは（ ウ ）である。

他方、（ エ ）は第2次世界大戦を引き起こした戦犯国として、戦後は東西に分断されることになったが、1990年3月、「東」が「西」に編入される形で統一された。ヨーロッパの中央にあり、ヨーロッパで最も人口の多い（ エ ）はヨーロッパの歴史に大きな影響を与えてきたが、プロイセンの主導下で一つの国としてまとまったのは1871年である。プロイセンの首都（ オ ）が、この新しい国の首都になった。第2次世界大戦後に（ エ ）が東西に分断された後も首都は（ オ ）のままであったが、（ オ ）は（ カ ）が占領していた東（ エ ）にあり、西側に属する（ キ ）の首都としては機能しないため、（ キ ）はボンを暫定的な首都とした。ベートーヴェン（1770～1827年）の生誕地としても知られるボンは、フランスとの国境に近い、つまり、（ ク ）川に近い小規模な都市である。

東西対立は、（ ケ ）対 民主主義<sup>6</sup>、（ コ ）対 資本主義というイデオロギーの対立でもあった。両者の違いは、（ オ ）において顕著に残っている。つまり、西（ オ ）地区とは異なり、東（ オ ）地区は、権威、秩序、計画性を重んじた街作りが国の主導下で行われた。中でも、「労働者の宮殿」が2km以上にわたり整然と立ち並ぶカール・マルクス通りは有名である。この境界は大戦中の空爆によって、瓦礫の山と化したのが、その瓦礫を用い、高級アパートが建てられた。1949年、この通りは、当時のソ連の指導者にちなみ「スターリン通り」と名付けられたが、彼による弾圧・人々の虐殺（犠牲者の中にはドイツの共産主義者も含まれていた）や政治体制は後に批判されるようになり、1961年11月、通りも現在の名称（つまり、カール・マルクス通り）に改められた<sup>7</sup>。

---

<sup>5</sup> その内、日本政府が外交的に承認しているのは（ ウ ）のみである。

<sup>6</sup> 第2次世界大戦中、ソ連はファシズムを批判し、ドイツや日本と戦火を交えるが、戦後は「ファシズムを上回る全体主義」として批判されるようになった。

<sup>7</sup> カール・マルクス（1818～1883年）は、市民革命・産業革命後の社会において、労働者（プロレタリアート）は資本家（ブルジョア）に搾取されているとし、労働者の解放（人間解放）や労働者による革命（プロレタリアート革命）の必要性ないし必然性を説いた。また、『資本論』や『共

第2次世界大戦の舞台となり、荒廃したヨーロッパを再建するには、何よりも（サ）両国の和解が重要であると考えられるようになった。この考えに基づき、1952年、（シ）が西欧6ヶ国によって設立された。また、その成功を受け、1958年には（ス）が設立されたが、（セ）はこれらの国際機関には加盟せず、（ソ）を発足させた。しかし、（タ）年、加盟を果たした。

通常の間際機関とは異なり、（ス）には法律を制定する権限が与えられている。そのため、例えば、家畜の疾病・伝染病対策は、ある特定の加盟国で問題が発生している場合であれ、その国ではなく、（ス）が必要は法・措置を発する。これは農業政策に関わる案件であるが、（ソ）にはこのような権限は与えられていない。つまり、（ソ）に比べ、（ス）は（チ）と言える。

---

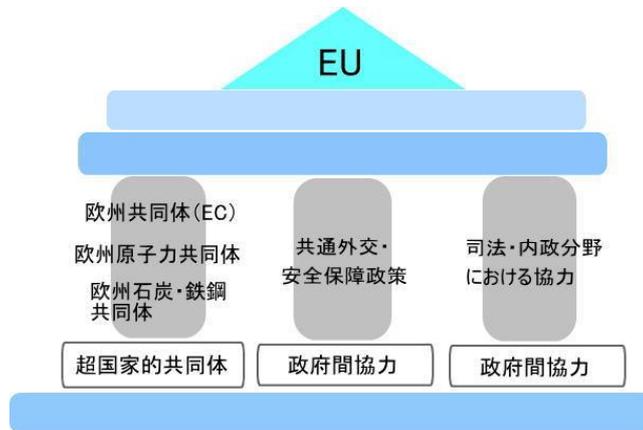
産党宣言』などの著作を発表して共産主義を体系化するとともに、科学的社会主義（マルクス主義）を打ち立てた。ロシアでは、彼の説いた革命によって、1917年（つまり、第1次世界大戦中）に帝政が崩壊し、ソ連が誕生した。この革命を主導し、ソ連の初代最高指導者となったのはウラジミール・レーニン（1870～1924年）であるが、レーニンはマルクス主義の普及に貢献した。ソ連は、後任のヨシフ・スターリン（1878～1953年）の在任中に第2次世界大戦や戦後の冷戦期を迎えるが、スターリンによる独裁や恐怖政治は、彼の死後、後任のニキータ・フルシチョフ（1894～1971年）によって批判されることになった（本文参照）。

#### ◎ ソ連の指導者

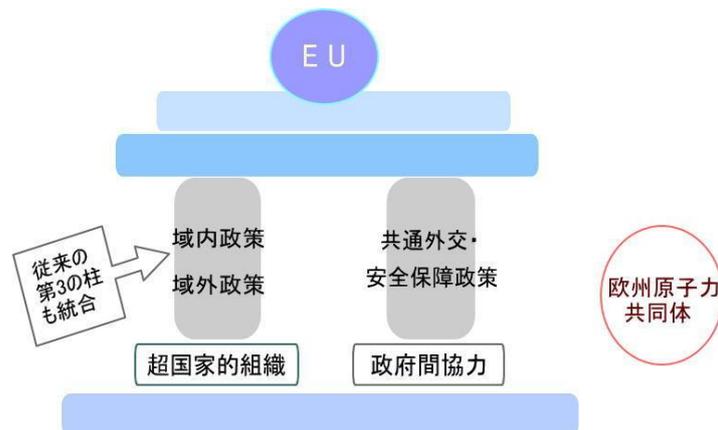
レーニン → スターリン → フルシチョフ

カール・マルクスの生誕地トリーアはフランスやルクセンブルクとの国境に近く、古代ローマ帝国の遺跡が現在でも市内の随所に存在する。また、ドイツ最古のカトリック大聖堂が置かれていることでも有名であるが、カール・マルクスはユダヤ教徒である。トリーアはナポレオンによって占領された時期もあるが、カール・マルクスが生まれた頃、つまり、ウィーン体制時はプロイセン領であった。石炭・鉄鋼業が盛んで、独仏両国間で奪い合ってきたザールラントとはほぼ隣接している。

( ス ) は、その他に、関税を含む通商政策、域内市場の設立、競争政策など、主に経済分野で活動してきたが、その他の分野（例えば、文化政策）でも活動する権限が与えられたため、1993年11月、( ツ ) と名前が変わった。これと同時に EU が設立された。当時の EU は、以下の図にあるように、3本柱構造をとり、( ツ ) は1本目の柱を構成していた。



ところで、EU・EC は条約に基づき設立されている。上掲の図の EU・EC は、1993年11月に発効した ( テ ) 条約に基づいている。その後、同条約は3度改正され、現在の EU は、2009年12月に発効した ( ト ) 条約に依拠している。なお、この条約に従い、( ツ ) は廃止され、EU に一本化されている (下図参照)。最初に設立された ( シ ) は、すでに2002年に廃止され、現在も活動している共同体は ( ナ ) のみである。



上述したように、EC には立法権限が与えられているが、2本目の柱である ( ニ ) の分野では立法権は与えられていない。そのため、超国家的組織と呼ばれる1本目の柱に対し、2本目の柱は ( ヌ ) と呼ばれる。柱構造をとるのは、このような理由に基づいている。